

日本科学者会議JSA

# 北陸地区シンポジウム2025 in 石川

## メインテーマ：能登復興への展望と課題 ～能登半島地震と豪雨災害から見えてきたもの～

日時：2025年4月26日(土) 13時20分～16時50分

会場：近江町交流プラザ4階 集会室 (〒920-0907 金沢市青草町88)

対面&オンライン(Zoom)参加費：無料

Zoom参加の方は、以下のURL、または右のQRコードにアクセスし登録して下さい。

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/SJ97U9FiTUybWqomijd7pw>



石川県ホームページから

### ◆特別講演

#### ◎能登多重災害からの復興への課題

講師：武田 公子(金沢大学 人間社会研究域 客員研究員)

### ◆一般講演

#### ①能登半島地震と「住み続ける権利」・「健康権」の保障

講師：井上 英夫(金沢大学名誉教授)

#### ②奥能登で発生した地震と豪雨に伴う地形変化と生活への影響

講師：安江 健一(富山大学 都市デザイン学部 地球システム科学科・准教授)

#### ③能登半島地震を考える ～「事前の備え」こそ～

講師：藤野間 幸英(技術士(建設部門))

◆趣旨 2024年元日に発生した能登半島地震、復旧が進まない中9月に発生した豪雨災害でさらに多くの方々が被災し、家屋だけでなく生業も失われています。本シンポジウムでは、過疎地域で発生した災害から見えてくる様々な課題(食料・農業・インフラ・公共サービス・福祉・介護・医療・原発・エネルギー・教育・避難計画・被災者の権利・液状化等々)を再認識し、創造的復興に向けた新たな取り組みについて皆さんと考え、議論します。

主催：北陸地区シンポ実行委員会(JSA 石川支部・福井支部・富山支部)

連絡先：実行委員長 木綿隆弘(石川支部事務局長)

電話：090-1390-6979 E-mail：kiwata@se.kanazawa-u.ac.jp

カンパのお願い：郵便振込口座番号 00750-4-22786

## プログラム:

13時20分～13時25分 開会挨拶

13時25分～14時25分 特別講演(50分, 質疑10分)

**題目:** 能登多重災害からの復興への課題

講師: 武田 公子(金沢大学人間社会研究域客員研究員)(非会員)

概要: 能登の復興を考える上で最大の課題は、避難の多様化・広域化を経て、域外での仮居住に移行するケースが多く、能登の人口減少の加速化が懸念されるということである。再定住の場をなお迷っている方々に「通いの復興」として能登に関わっていく仕組みを保障し、また被害の個別性に即した「災害ケースマネジメント」による寄り添い方の支援が求められる。本講演では、この課題に焦点を当てつつ、能登の復興課題を論じる。

14時40分～16時10分 一般講演(25分, 質疑5分)×3件

石川支部から

**題目:** 能登半島地震と「住み続ける権利」・「健康権」の保障

講師: 井上 英夫(金沢大学名誉教授)(非会員)

概要: 復旧・復興の鍵は、国の人、物そして財政の全面出動による「住み続ける権利」の保障である。ボランティアや人々の力・頑張りだけではどうにもならない。被災地の惨状を一目見れば分かりやすい道理である。「住み続ける権利」とは、被災者・地域住民が、「どこに、誰と住むか、どのように住むか、その自己決定を保障する」ものである。「公助」や「支援」ではなく、憲法・国際人権条約によって人権として「保障」されている。この視点から、とくに国の義務と責任について考えたい。

富山支部から

**題目:** 奥能登で発生した地震と豪雨に伴う地形変化と生活への影響

講師: 安江 健一(富山大学都市デザイン学部 地球システム科学科・准教授)(非会員)

概要: 2024年1月1日に発生した能登半島の地震では、能登半島北部が顕著に隆起するとともに、半島北部から中部にかけて斜面崩壊などに伴い大きな被害が発生した。さらに、2024年9月21日には奥能登4市町村で線状降水帯が発生して記録的な大雨となった。これら地震と豪雨では、地形が大きく変化し、人々の生活に影響が出た。本講演では、この地形の変化を説明するとともに、それらの生活への影響について紹介する。

福井支部から

**題目:** 能登半島地震を考える ～「事前の備え」こそ～

講師: 藤野間 幸英(技術士(建設部門))(会員)

概要: 「住み続けたい」という被災者の願いを実現するには、被災から「避難所」、仮設住宅そして住宅と生業の再建への道筋、その「見通し」を一人一人が持てるかどうか。いつでもどこでも起こりうる地震の被害を抑え復興を進めるには、「事前への備え」をするしかない。住宅の「耐震化」、「人権が守られる避難所・避難生活」の準備、必要な国・自治体の人員と体制の確保こそ。最後に能登の復興の方向を考える。

16時20分～16時45分 総合討論

16時45分～16時50分 閉会挨拶

17時30分～ 懇親会